

(様式2)新規評価シート

事業名				建設部		道路建設課					
事業毎の通番				事業名		路河川名等					
事業目的				(一)八幡小諸線							
事業毎の通番				事業名		路河川名等					
事業毎の通番				小諸市		箇所名(ふりがな)					
事業目的				古城(こじょう)							
事業概要				当路線は佐久地域と小諸市中心市街地を結ぶ重要路線である。隣接地は懐古園、付近には小諸駅、ホテル等の宿泊施設があり、観光客の利用が車両、歩行者とも非常に多い箇所である。しかし、当該区間は幅員狭小、急カーブ箇所であり歩道も無いため、車両、歩行者とも非常に危険な状態となっている。観光地であり、また、利便性向上のためにも整備が急がれる。本計画の区間は、現在小諸市施行中の懐古園大手門公園整備事業と合わせて実施することにより、地域の観光経済活動活性化に大きく寄与するものである。							
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け		3-8生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)		事業実施の根拠法令等		道路法					
関連する事業、計画等				小諸市懐古園施設再整備計画、地域戦略推進型公共事業							
保全対象・範囲 受益対象・範囲		計画交通量:1,913台/日									
着手年度		平成30年度		事業期間		4年間					
完成年度(見込み)		平成33年度		費用対効果		2.4					
全体事業内容 (主な工種)				事業費(千円)		財源内訳(千円)					
道路拡幅工 L=300m、W=6.0(12.0)m				国庫		その他					
				県債		一般財源					
				150,000		135,000					
				15,000							
事業効果		直接的效果(定量的・定性的) 走行経費の減少									
		間接的效果(定量的・定性的) 観光振興による地域活性化 地域間交流の促進									
評価の視点		必要性 ○交通量 : 1,913台/日 ○代替道路の有無 : 安全性の高い代替道路(国道141号)がある ○医療・福祉・教育施設との連携 : なし ○交通結節点アクセス : 小諸駅(JR、しなの鉄道) ○観光振興・地域の活性化 : 観光地(懐古園)の活性化に資する									
		評価 A									
重要性 ○関連計画、重点施策との整合 : 懐古園施設再整備計画、地域戦略推進型公共事業に位置付け ○緊急輸送道路の路線指定 : 緊急時に小諸市の緊急輸送路に指定となる道路(小諸市地域防災計画) ○地域指定 : 佐久地域定住自立圏		評価 A									
効率性 ○費用便益比(B/C) : 2.39 ○事業期間 : 4年間 ○工法等の比較検討 : 現場条件を考慮した線形検討、懐古園入口への斜路歩道の構造検討 ○他事業との連携 : 懐古園施設再整備計画、地域戦略推進型公共事業		評価 A									
緊急性 ○近年の交通事故件数 : 3件(全て車両相互) ○道路環境改善 : 局部的な渋滞緩和 ○歩道整備 : 懐古園側歩道未整備 ○現況の車道幅員、半径、勾配 : 車道幅員5.2m		評価 B									
計画熟度 ○事業情報の共有 : 地元関係者、市役所に周知(H29.6) ○地域の取り組み : 小諸市地域公共交通協議会により提言あり ○地域の合意形成 : 予備レベルの設計を地権者に提示し、用地提供の基本合意を得ている(H29.6) ○住民との協働 : 周辺住民による懐古園周辺の清掃美化活動		評価 A									
部局意見 事業の必要性、重要性、効率性、計画の熟度が高いため、平成30年度から事業化したい。		採択状況		総合評価							
		<input type="radio"/>		A							
技術管理室意見 部局の意見を適当と認める。											

